

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	哲学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	高橋 綾	実務経験と その関連資格				
<b>《授業科目における学習内容》</b> この授業では、医療現場で、医療者、看護師や患者が直面するであろう「哲学的」「倫理的」問題について考えていきます。倫理とは、「～すべき」「～すべきでない」「～するのは善いことだ」「～するのは悪いことだ」という人間の性格や行為の善悪に関することであり、倫理学とは、善悪(の基準)について考える学問です。この授業では、とくに(1)医療や看護という仕事に就く人に求められる「倫理」や責任について学びます。また医療技術が進むなかで生命の操作が可能になっていますが、その「倫理的問題」について学び、それを通じ「患者(相手)を尊重するとはどういうことか」「家族とは何か」「子どもを持つ、親になるとはどういうことか」「幸福とはなにか」「死をどう迎えるか」などの哲学的な問いについても考えてみます。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 学期末試験によって評価します。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 教科書「事例でまなぶ ケアの倫理」(メディカ出版)						
<b>《授業外における学習方法》</b> 指定した教科書を事前読んでおくこと。課題が出された場合にはそれを次回までに行うこと。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 看護師として「正しい」「良い」対応や行いができるようになるために、看護師としての職業倫理や、最先端の医療技術における倫理的な問題について一緒に学び、考えてみましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	看護と哲学、倫理学との関わりを理解する、看護師の職業倫理としての「看護者の倫理綱領」の内容を理解する				
	各コマにおける授業予定	授業で扱う二つの内容、看護師の職業倫理と医療技術のもたらす倫理的問題について紹介する。また、看護師の職業倫理の代表としての「看護者の倫理綱領」の内容を理解する				
第2回	授業を通じての到達目標	患者主体の医療という考え方や、それを実現するインフォームド Consent という手続きについて、理解し、説明できる				
	各コマにおける授業予定	医療における、パターナリズムから患者主体の医療へという転換について説明し、インフォームド Consent の定義、内容について解説する				
第3回	授業を通じての到達目標	インフォームド Consent や患者の自己決定の難しさについて理解し、説明することができる				
	各コマにおける授業予定	インフォームド Consent やそれに伴う患者の自己決定を実際に行ってもらった際にどのような困難が生じるかを説明し、告知の映像等を見て患者の身になって考える				
第4回	授業を通じての到達目標	医療倫理の四原則を理解し、それが何か説明できる。簡単な事例について四原則を使って検討することができる				
	各コマにおける授業予定	ビーチャムらの「医療倫理の四原則」を紹介する。グループになり、簡単な事例について、四原則を用いた分析や話し合いをする。				
第5回	授業を通じての到達目標	ケアという考え方や対話に基づいた倫理の重要性について学ぶ				
	各コマにおける授業予定	前回の事例について、各グループがどう考えたかを振り返る。看護倫理に欠かせない、ケアや対話という考え方についても説明する。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	日本で行われている生殖補助医療やその倫理的問題について理解し説明できる		
	各コマにおける授業予定	医療技術における倫理的問題の第一回として、さまざまな生殖補助医療について紹介する。またそうした医療を受ける患者の悩みや看護師に求められる対応についても学ぶ。		
第7回	授業を通じての到達目標	代理出産について知り、日本でも代理出産を認めるべきかということについて自分の意見を述べることができる		
	各コマにおける授業予定	日本では行われていない代理出産という技術や世界の状況について知る。映像資料を視聴し、日本でも代理出産を認めるべきか、というテーマについて自分の意見を述べる。		
第8回	授業を通じての到達目標	出生前診断について理解し、自分で説明できる		
	各コマにおける授業予定	遺伝子診断を用いた出生前診断とそのメリットデメリットについて知る。出生前診断の結果としての選択的中絶という選択肢についても説明する		
第9回	授業を通じての到達目標	出生前診断を受けた患者に対して、医療者はどのようなケアをするべきかを考える		
	各コマにおける授業予定	出生前診断の広がりや胎児が陽性と診断された場合の両親、家族の気持ちについて映像資料を視聴し理解する。また看護師、医療者として必要な対応について考える。		
第10回	授業を通じての到達目標	安楽死、尊厳死という考え方や、医療者がそれを行うことがどう捉えられてきたかについて理解する		
	各コマにおける授業予定	安楽死、尊厳死という考え方や、医療者がそれを行うことがどう捉えられてきたかについて理解する		
第11回	授業を通じての到達目標	尊厳死、延命治療の中止について、医療者として、患者・家族としてどう対応するべきかについて、自分の意見を述べるができる		
	各コマにおける授業予定	尊厳死、延命治療の中止について、映像資料を視聴し、医療者として、患者・家族としてどう対応するべきかについて、自分の意見を述べる。		
第12回	授業を通じての到達目標	ターミナルケア・緩和ケアという考え方について理解し、説明することができる		
	各コマにおける授業予定	終末期ケアのあり方としての緩和ケアについて理解する。映像資料を視聴し、終末期の看護のありかたについて考える。		
第13回	授業を通じての到達目標	脳死と臓器移植について理解し、脳死の定義や脳死移植法について説明することができる。		
	各コマにおける授業予定	脳死の定義や脳死移植という方法について、また、脳死移植法、脳死移植の倫理的な懸念点について解説する		
第14回	授業を通じての到達目標	医療資源の公平な配分の必要性について理解し、その具体例としてのトリアージについて学ぶ		
	各コマにおける授業予定	医療資源の公平な配分の必要性について理解し、その具体例としてのトリアージについて学ぶ		
第15回	授業を通じての到達目標	医療における子どもの権利や子どもに対するインフォームドコンセントについて理解する		
	各コマにおける授業予定	医療における子どもの権利や子どもに対するインフォームドコンセントについて解説する		